AO 入試 過去問題
2025

国際日本学部

国際文化交流学科

※問題は 2025 年度入試のものです。
※2026 年度入試では、AO 入試は実施しません。新たな入試として「総合型選抜(総合評価型)」を実施します。

KU 神奈川大学

〈B〉

国際日本学部　国際文化交流学科

【事前課題】国際日本学部　国際文化交流学科

課題：

あなたの描く自身の理想の将来像を具体的に記述してください。それは職業でも人生観でも構いません。なぜそのような将来像を描くようになったのか、そのきっかけとなった出来事・エピソードや、考えがそこに至った過程を、固有名詞（人名や地名（旅行先・留学先）、企業名、組織名等）を使ってできる限り具体的に記述してください。

さらに、その将来像に行き着くために、国際文化交流学科における学びがどう生きるかを記述してください。国際文化交流学科は 4 つのコースに分かれています。所属したいコースについて具体的に記述しても構いません（２年次にコース分けがありますが、ここで所属コースの確約をするものではありません）。

そして、ＡＯ入学試験の志願者は国際文化交流学科が第一志望となりますが、他大学での学修と比較して、なぜ国際文化交流学科を第一志望に選んだのかを詳細に記述してください。

エントリーシートと内容が重複しても構いません。自分が一番伝えたい熱い想いをここで私たちに届けてください。

字数：

3,000 字以上 5,000 字以下でまとめてください。

国際日本学部　国際文化交流学科

管理番号：Z-2

２０２５年度　神奈川大学　ＡＯ入学試験問題

ＡＯ入学試験【小論文】
国際日本学部　国際文化交流学科
［試験時間 90 分］

日曜日の朝は、目覚ましをかけてないのになぜか早く目が覚めてしまうことがあります。

そんなときは、NHK E テレの「NHK 短歌」を観ます。この番組は、全国の視聴者から送られてきた短歌の中から優れた作品を新進気鋭の歌人・枡野浩一さんが選定し、ミュージシャンの尾崎世界観さんとそのときのゲストが鑑賞するという内容です。5・7・5・7・7のたった 31 音から多様な解釈が、錆びついた私の感性を揺さぶってくれます。

先日の日曜日も、なぜかふっと目が覚め、寝室からのこのこと這い出て、誰もいないリビングでリモコンを操作すると、ちょうどこの番組が始まるところでした。

今回のお題は、「おめでとう」。枡野さんが選定した作品が紹介されました。

① 常磐線
土浦行の終電で
わたしが着いた
次の年齢
東京都　世田谷区　山下ワードレス

② 「おめでとう」
じゃないほうなのね
ごめんなさい
だけど自由ね
「おしあわせにね」
熊本県　熊本市　工藤晴美

③ 百年後
古典と呼ばれる
本がきょう
産声をあげる
聞こえているかい
ゲスト　校正者　牟田都子

問1　これら3つの短歌が作られたそれぞれのシチュエ―ションを想像して説明をしてください。

問2　「おめでとう」ということばは、誕生日やお正月に過去も現在も言われ続けていますが、かつてはクリスマスにも「クリスマスおめでとう」のように言われていました。なぜクリスマスでは言われなくなり、誕生日やお正月では現在も変わらず言われているのでしょうか。

問3　問2を踏まえて、「おめでとう」ということばの本質はどこにあると思いますか。あなたの考えを述べてください。

※問1、問2、問3とも字数制限はありません。解答用紙は白紙です。それぞれの解答の文字数の分量を想定し、文字の大きさ等に留意して書いてください。裏面は使わず、表面のみでまとめてください。